月百景

望遠鏡で楽しむ月文学

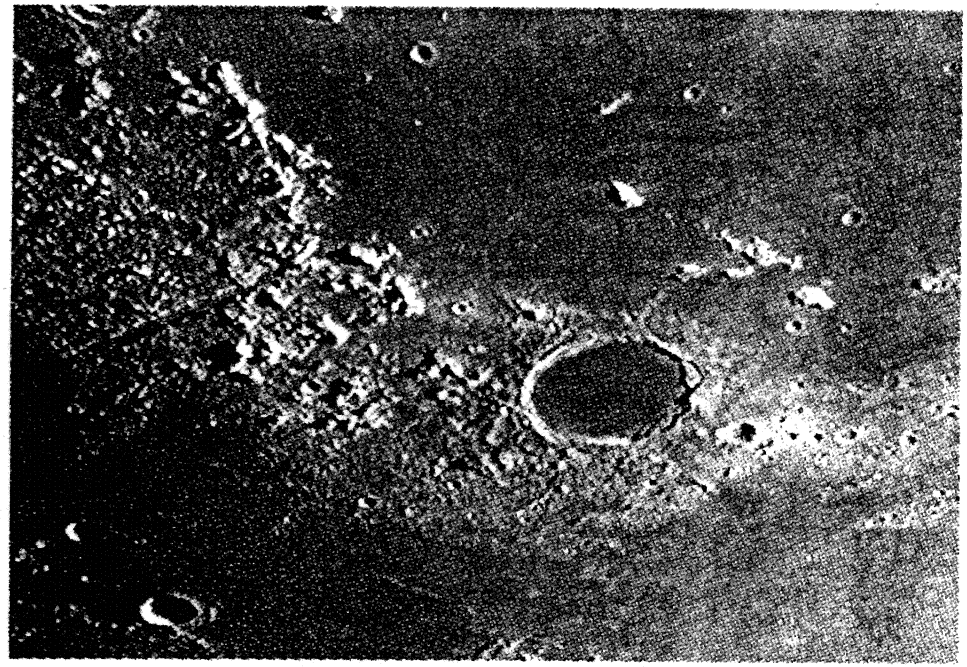
030

「峨眉山月（がびさんげつ）　半輪の秋　影は平羌江（へいきょうこう）の水に入って流る」（李白「峨眉山月の歌」）

峨眉山の秋空に輝く半月。川面に浮かぶ月影が水とともに流れゆく―。

李白が志を抱き、故郷を後にする時に詠んだ七言絶句の冒頭。旧友に別れを告げられなかった李白のそばには月がいた。唐の代表的歌人は生涯、友人として月をこよなく愛した。

アルプスの谷　ナイフを入れたよう



半月の見どころは、アルプスの谷。雨の海をふちどる荒々しいアルプスの峰々を断ち切る。鋭くナイフを入れたようなこんな地形はほかにはない。地球で似たところを探すとすれば、大地が裂け、小さい海ができようとしているアフリカの大地溝帯。かつてこの地でどんな地殻変動があったのだろうか。

（文・川上紳一、カメラ・白尾元理＝写真家）

帯状に広がる山脈にナイフを入れたようなアルプスの谷（左端）が走る